

「電波の日」東海総合通信局長表彰

1 個人:2件、団体:2件

(敬称略)

受賞者名	功績の概要
<p>おおやま しんたろう 大山 慎太郎</p> <p>(国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学未来社会創造機構 予防早期医療創成センター 准教授)</p> <p>おおつか たかのぶ 大塚 孝信</p> <p>(国立大学法人名古屋工業大学大学院 工学専攻 知能情報プログラム 准教授)</p>	<p>医療機器の位置追跡と稼働状況の可視化をIoTを用いてリアルタイムに把握するデバイスを開発し、病院内の医療機器の最適化を図ることにより、医療従事者の負担軽減及び安全な医療の提供を行うなど、医療における電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。</p>
<p>ほりうち ゆたか 堀内 豊</p> <p>(一般社団法人日本アマチュア無線連盟 東海地方本部監査長)</p>	<p>多年にわたり、アマチュア無線に関する相談受付・対策指導やアマチュアガイダンス局を活用して運用ルールの注意喚起に尽力するとともに、卓越した指導力と経験で監査指導活動を取りまとめるなど、適正な電波利用環境の維持に多大な貢献をされました。</p>
<p>あいち自動運転推進コンソーシアム</p> <p>(会長 おおむら ひであき 大村 秀章 愛知県知事)</p>	<p>企業・大学・市町村等と連携し、県内各所の公道における自動走行や特定区間での一般客向け自動運転実証を通じて、自動運転の社会実装に精力的に取り組むとともに、イノベーションの誘発による新事業の創出や地域経済の活性化に尽力するなど、地域の情報通信の発展に多大な貢献をされました。</p>
<p>浜松ホトニクス株式会社</p> <p>(代表取締役社長 まるの ただし 丸野 正)</p>	<p>テラヘルツ帯小型半導体光源の性能の向上に成功し、更にテラヘルツ帯リアルタイム分光センシングシステムの研究を通じて医薬材料の製造工程での検査や樹脂の分別技術への実用化の可能性を導くなど、電波利用の普及・発展に多大な貢献をされました。</p>